

船橋市児童相談所夜間休日電話相談業務委託事業者審査基準

1 評価の内容

審査は、「書類審査」(提案書の審査)及び「面接審査」(プレゼンテーションの審査)により行う。

2 書類審査の実施

提出された提案書について書類審査を行う。

3 面接審査の実施

面接審査を行い、前項で行った書類審査と面接審査の結果を合わせて、最終の審査結果とする。最終の審査結果において、最終順位が1位の参加業者を受託候補者とし、2位の参加業者を次点者とする。

4 評価の段階

評価委員は、それぞれの提案書について、船橋市児童相談所夜間休日電話相談業務委託事業者評価基準の項目及び評価内容ごとにそれぞれ5段階で評価する。

5 評価項目点

各評価項目は船橋市児童相談所夜間休日電話相談業務委託事業者評価基準のとおり配点を定め、優れている側から、満点の 10/10、満点の 8/10、満点の 6/10、満点の 4/10、満点の 2/10 までの5段階とし、これを評価項目点とする(例:配点が 20 点の評価項目であれば、優れている側から、20 点、16 点、12 点、8 点、4 点まで5段階の評価項目点)。

見積金額については、最低見積金額を提案者見積金額で除し、配点を乗じた数値を評価点とし算出。

6 順位決定方法

評価委員ごとに、評価項目点の合計が高い順に順位を付し、順位を順位点とする(例: 1 位 = 1 点、2 位 = 2 点)。評価委員全員の順位点を合計し、順位点の合計が少ない順に、適した提案を行った参加業者として選定する。

なお、順位点の合計が同点の場合、1位とした評価委員が多い参加業者から上位とする。1位の獲得数も同数の場合、2位とした評価委員が多い参加業者から上位とし、以降同様に、より上位の順位の獲得数で選定する。

順位の獲得数にも差のない場合は、評価委員全員の評価項目点を合計し、評価項目点の多い参加業者から上位とする。

評価項目点にも差のない場合は、評価委員長が付した評価項目点の合計が多い参加業者から上位とする。

順位決定方法(例)

| | | A 法人 | | B 法人 | | C 法人 | |
|------|----|------|----|------|----|------|----|
| | | 採点 | 順位 | 採点 | 順位 | 採点 | 順位 |
| 委員1 | 書類 | 350 | | 320 | | 300 | |
| | 面接 | 80 | | 100 | | 60 | |
| | 計 | 430 | 1位 | 420 | 2位 | 360 | 3位 |
| 委員2 | 書類 | 350 | | 310 | | 380 | |
| | 面接 | 60 | | 60 | | 80 | |
| | 計 | 410 | 2位 | 370 | 3位 | 460 | 1位 |
| 委員3 | 書類 | 330 | | 340 | | 310 | |
| | 面接 | 80 | | 80 | | 50 | |
| | 計 | 410 | 2位 | 420 | 1位 | 360 | 3位 |
| 順位点数 | | | 5点 | | 6点 | | 7点 |
| 最終順位 | | 1位 | | 2位 | | 3位 | |